

コンダクトリスク管理

1 コンダクトリスクとは

当グループは、信託銀行グループとして、信託の受託者精神に立脚し、高い職業倫理と自己規律のもと、ステークホルダーの正当な期待と信頼に応えることを責務とし、その責務に応える活動が期待されています。

この期待に応えられないような不適切な行動に起因して、お客さま、市場、社会および職場環境等に対して悪影響を及ぼす可能性があります。

たとえば、信用毀損のような非財務的負担や罰金・和解金等のような財務的負担が生じるケースも考えられます。

当グループでは、このようなリスクを重要なリスクと認識

し、オペレーショナル・リスクのリスクサブカテゴリーのコンダクトリスクとして管理しています。

当グループでは、グループ各社における役員および社員の行動が、職業倫理に反していることやステークホルダーの期待と信頼に応えていないことにより、当グループ、お客さま、市場、金融インフラ、社会および職場環境に対し悪影響を与えるリスクをコンダクトリスクと考えており、グループ各社にて、コンダクトリスクの特定、評価、リスク統制策実施等PDCAサイクルによる統制に取り組んでいます。

2 コンダクトリスク管理の取り組み

当グループでは、コンダクトリスク管理について、世間から当グループの企業倫理や姿勢を問われることにつながるような事態をリスクとして捕捉し、そうした事態につながる行動を統制することで未然防止する取り組みと考えています。

たとえば、リスクの端緒となるグループ各社の役員および社員の行動にはそれぞれの考え方が反映されることが多く、グループ各社の役員および社員が、常日頃から、単にルールを遵守することに留まるのではなく、職業倫理に立ち返り、お客さま本位で行動することが大切であるという考え方を共有することが重要になります。

こうしたことから、当グループのコンダクトリスク管理は、職業倫理の遵守、ステークホルダーへのポジティブインパクトの提供、お客さまにベター・ベストプラクティスを推進して

いくことが、リスク削減策にもなる、という考え方を基本としています。

当グループでは、コンダクトリスク管理のため、不適切な行動(ミスコンダクト)を牽制する堅確な事務体制整備等の施策と、業務を取り巻くリスクに自律的に取り組むカルチャーの醸成、そうした行動を推奨するインセンティブ提供等の施策を、同時に複合的に取り組んでいます。

コンダクトリスク管理の主な取り組み

- コンダクトリスクの特定、評価、顕在化予兆モニタリング
- 社内外からの情報収集による潜在的・未認識のリスクの捕捉および把握
- リスク文化の醸成と浸透
- 社員意識調査

Column

プリンシプル等に関する社員ディスカッション

当グループでは、存在意義(パーパス)、経営理念(ミッション)、目指す姿(ビジョン)、行動規範(バリュー)、その他のプリンシプルについて、社員が、より体系的に理解し、より意識を高めていくために、それらの考え方のエッセンスを抽出して、分かりやすく表現した浸透ツールの作成を進めています。

社員一人ひとりが日々の業務において判断に迷ったときに、拠り所となるような実践的な内容とするために、社員同士のディスカッションを実施して意見を集めています。

